



# ひがしっ子

小野東小学校 学校だより 令和5年10月号

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査について



令和5年4月18日（火）小学6年生を対象に、国語・算数の学力調査及び生活状況調査が全国一斉に実施されました。本校の分析結果の概要をお知らせします。

※本日配布しております「小野市教育委員会 令和5年度 全国学力・学習状況調査 調査結果・分析」のリーフレットとともにご覧ください。

### ○前頭前野を発達させるために

小野市教育行政顧問 東北大学 川島隆太教授の脳科学理論に基づき、前頭前野を発達させるために大切な次の項目をご覧ください。

※数値は（ア）当てはまる（イ）どちらかといえば当てはまる の合計（%）

		本校	小野市	全国
1	毎日同じくらいの時刻に寝ている	88	87	81
2	毎日同じくらいの時刻に起きている	96	95	91
3	朝食を毎日食べている	98	96	94

☆どの項目も高い割合を示しています。早寝早起きを心がけ、毎日規則正しい生活を送ることは、成長期の子どもにとって大変重要です。継続した取組をお願いします。

### ○自尊感情と心の成長

		本校	小野市	全国
1	自分には良いところがある	94	88	83
2	将来の夢や目標をもっている	91	91	82
3	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	100	99	87
4	人が困っている時、進んで助ける	98	96	92
5	人の役に立つ人間になりたい	98	97	96
6	学校に行くのは楽しい	93	91	85
7	先生は、あなたのよいところを認めてくれる	97	93	90
8	地域の行事に参加している	79	86	58
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	91	90	77

☆子どもは、学校・家庭・地域でのあたたかい関わりの中で成長していきます。

学校では、6年生として低・中学年に関わる姿もよく見かけられます。

【質問項目と学力が相関関係にあるクロス集計について、裏面をご覧ください。】

☆クロス集計については、小野市リーフレットにも詳しく述べられています。

## クロス集計

### ○学力結果と相関関係があった生活・学習習慣(主なもの)

		本校	全国
1	読書は好きですか。	63	72
2	先生は、よいところを認めてくれる	97	90
3	国語の授業内容はよく分かる	91	86
4	学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	88	82

☆他にも、6年生は生活習慣・学習習慣・自己有用感・規範意識・教科への関心についての肯定的評価が全国平均に比べて高い結果になっています。一方で、読書量についての項目は他に比べて低く、本に親しむ機会が減る傾向にあります。SNSや動画視聴、ゲームの時間などが影響していることもうかがえます。将来への望ましい成長に向けて生活習慣の自己管理が今後さらに重要になります。ご家庭でもご協力をお願いします。

### ○学力調査は、国語は「良好」算数は「概ね良好」という結果です。

- 国語では、「全体的に良好な結果」となっています。しかし、唯一「読むこと」について正答率が低いところがありました。今後も次の取組を継続します。
  - ①読書量を見直し、授業では、物語全体をイメージしながら学習を組み立てていく。
  - ②条件に合わせて自分の考えを書いたり、意見をまとめたりする活動を継続する。
  - ③国語だけでなく、社会の授業などで複数の資料を読み取る経験を取り入れる。
- 算数では、「概ね良好な結果」となっています。「割合」と「図形」の問題に少し課題が見られました。対策として次のような取組を行います。
  - ①割合で示された量感を感じられるよう図を用いるなどして割合の意味を理解する。
  - ②図形領域では、教科書等で示される図形だけでなく極端な図形も取り入れて、定義や性質に照らし合わせていく。
  - ③タブレットPCを活用し、自分で図形を作るような算数的活動をする。
  - ④生活との結びつきを意識させた授業作りを行う。

☆国語・算数とも無解答率が低く、記述問題にも最後まで向き合おうとしていることがうかがえます。これからも、子どもたちが毎日の学習の積み重ねを大切に、学びに向かう姿勢を構築できるようご家庭と連携しながら取り組んでまいります。

